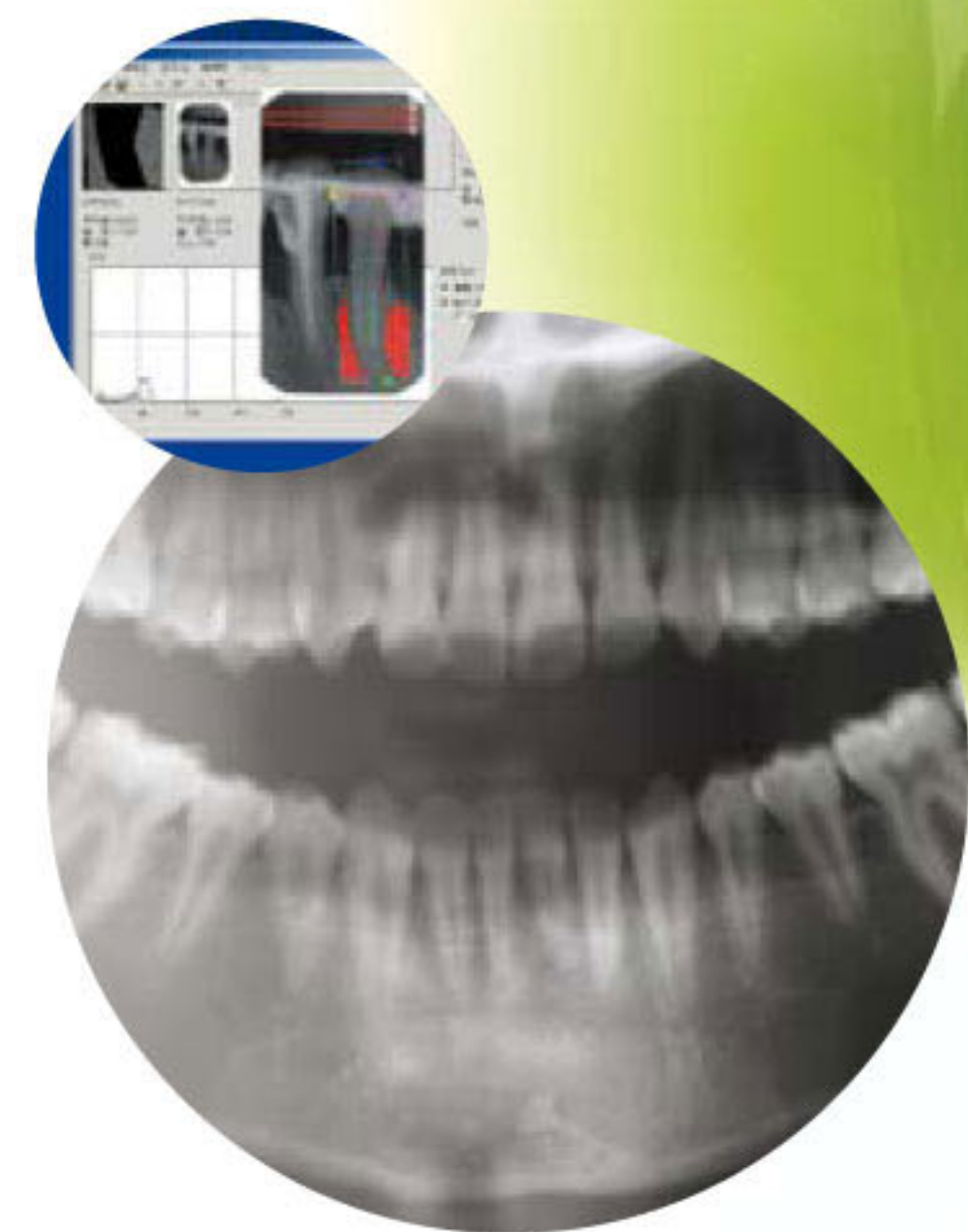


目視だけで、大丈夫ですか？ 見落としていませんか？ レントゲン画像による歯骨密状態の 正しい診断をサポートします。

これまで目視に頼るしかなかったのが、レントゲン画像の診断です。
歯周病治療の経過やインプラントの補綴時期などをジャッジする
重要な診断のはずが、従来の目視では様々な要因からジャッジを
困難にする可能性を多く含んでいました。
しかし「Bone Right」を用いれば、半信半疑だった
顎骨の骨密度評価がより正確に行えます。



レントゲン画像による歯骨密度の診断サポートソフト

Bone Right

【ボーン・ライト】
Windows対応

日本で1200万人、米国で2000万人もの潜在患者がいるにも拘わらず、受診率20%未満という骨粗鬆症の現状を改善すべく、
本ソフトは、今後加速度的に増加する骨粗鬆症患者の口腔管理を、全国の歯科医が担うことが可能になります。



レントゲン画像から読み解く 「骨密度レベル」

早くから独自の視点で歯周病治療の研究を手掛け、高石歯科医院の代表である高石佳知先生が国際特許出願中の「下顎骨密度 (BMD) 評価装置と評価方法」に基づき開発されたコンピュータソフト「Bone Right」が今春発売となります。このソフトはレントゲン画像から骨密度の具体的な数値を割り出し、年齢、性別ごとに評価する“骨密度評価サポートソフト”です。
また近年、世界的問題視されているのが、ビスフォスフォネート製剤の副作用による顎骨骨壊死です。この問題も、歯周病治療の経過も、従来は目視のみでしか確認できなかった骨密度評価が明確になることで、正しく対処することができるようになります。



監修



藤田 拓男 医学博士

1929年生まれ 医学博士
東京大学医学部医学科卒業
神戸大学名誉教授
葛城病院名誉院長
日本歯科骨粗鬆症研究会理事長
カルシウム研究所所長
日本骨代謝学会名誉理事長
骨粗鬆症財団理事長
日本内分泌学会会長
日本結合学会会長 ほか歴任

ボーンライト(下顎骨密度評価装置)は、歯を支える顎骨の年齢や色々な病気になる骨密度変化を簡単にしかも正確に評価出来る画期的な装置で、全身の骨粗鬆症や歯周病の原因になる顎骨の弱体化、顎骨壊死の予測に役立ちます。

開発者



高石 佳知 歯学博士

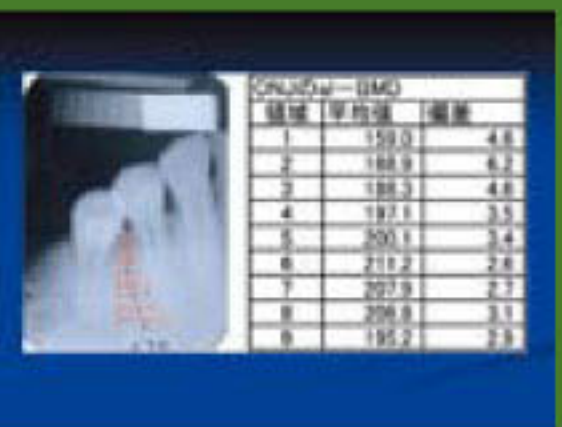
1954年生まれ 歯学博士
大阪歯科大学卒業
日本骨粗鬆症学会評議員
大阪歯科大学非常勤講師(生化学)
骨粗鬆症・生活習慣病ネットワーク代表
日本歯科骨粗鬆症研究会副理事長
医療法人社団 天聖会 高石歯科医院理事長 (tensyoukai.or.jp)

■国際特許
Dental Rendering Image System, MAXILLARY TOOTH DIMENSION United States Patent, 下顎骨密度 (BMD) 評価装置と評価方法 (出願中)
■所属学会・団体
日本骨粗鬆症学会、日本歯科骨粗鬆症研究会、米国骨ミネラル学会 (ASBMR)、日本歯周病学会、米国審美歯科学会 (AACD)、日本歯科審美学会、日本口腔インプラント学会、日本小児歯科学会、生体材料学会、日本歯科産業学会
■主な研究・論文
●顎骨壊死のEBM (ビスフォスフォネート投与と顎骨) 骨粗鬆症治療 (先端医学社) 2008;7:68-71.
●骨粗鬆症と歯周病, Preventive Periodontology (医歯薬出版) 2007;115-122.
●骨粗鬆症患者における下顎歯槽骨骨密度に対するラロキシフェンの治療効果—下顎歯槽骨骨密度評価ソフトウェアによる検討—Osteoporosis Jpn 2006;14:157-163.
●Correlation between periodontitis and loss of mandibular bone in relation to systemic bone changes in postmenopausal Japanese women, Osteoporosis Int 2005;16:1875-1882.
●Suppression of Alveolar Bone Resorption by Etidronate Treatment for Periodontal Disease: 4-to5-Year Follow-up of Four Patients, J Int Med Res 2003;31:575-584.
●Clinical Effect of Etidronate on Alveolar Pyorrhea Associated with Chronic Marginal Periodontitis: Report of Four Cases, J Int Med Res 2001;29:355-365.

レントゲン画像による 歯骨密度評価サポートソフト **Bone Right** の特徴

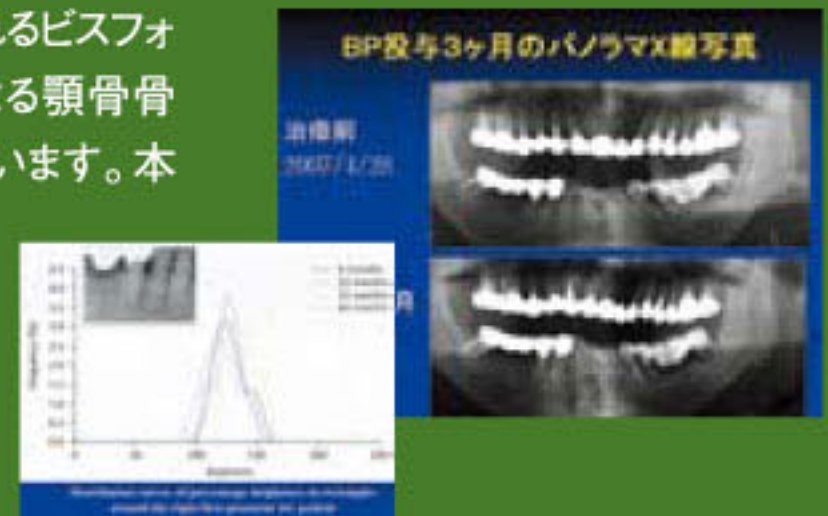
■ 集積データを基に、年齢・性別で評価

本ソフトは、レントゲン画像から下顎骨骨密度の数値化、さらには集積データに基づいた年齢・性別の評価を可能にします。従って、歯周病患者の治療経過における顎骨骨密度評価に役立ちます。



■ 64ヶ月前との状態比較も可能

骨病変の治療に効果的とされるビスフォスフォネート製剤 (BP)。BPによる顎骨骨密度の増加が多く報告されています。本ソフトは骨密度評価による治療の経過が追えるように64ヶ月ものデータのストックが可能です。



■ 評価時間はわずか3分

本ソフトをインストールしたコンピュータに撮影したレントゲン画像を読み込めば、ソフトが自動で画像の解析を始め、わずか3分程度で骨密度を数値化ならびに評価できます。また全体だけでなく、気になる部分のみの評価も可能です。



■ 歯科医療へ貢献

日本で1200万人、米国で2000万人もの潜在患者がいるにも拘わらず、受診率20%未満という骨粗鬆症の現状を改善すべく、本ソフトは追加設備なしで全国の歯科医院をはじめ、全世界の歯科医院での使用を可能にしました。



ボーンライト推奨環境

OS	Microsoft Windows Me/ Microsoft Windows XP
CPU	Intele Pentium 3 (800MHz) 以上
メモリー	256MB以上
HDD	1GB以上の空き要領

【販売代理店】